

有機飼料（調製又は選別の工程以外の工程を経たものに限る。）及び有機加工食品についての生産行程管理者及び外国生産行程管理者の認証の技術的基準の一部を改正する件 新旧対照表  
 ○有機飼料（調製又は選別の工程以外の工程を経たものに限る。）及び有機加工食品についての生産行程管理者及び外国生産行程管理者の認証の技術的基準（令和4年9月28日財務省・農林水産省告示第25号）

（下線部分は改正部分）

改正後	改正前
<p style="text-align: center;">有機飼料（調製又は選別の工程以外の工程を経たものに限る。）及び有機加工食品についての生産行程管理者等の認証の技術的基準</p> <p><b>1 適用範囲</b>  <u>この基準は、登録認証機関及び登録外国認証機関（以下“認証機関等”という。）が日本農林規格等に関する法律（昭和25年法律第175号）第10条第2項及び第30条第2項の規定に基づき行う有機飼料（調製又は選別の工程以外の工程を経たものに限る。以下同じ。）及び有機加工食品についての生産行程管理者及び外国生産行程管理者（以下“生産行程管理者等”という。）の認証の技術的基準を規定する。</u></p> <p><b>2 引用規格</b>  <u>次に掲げる引用規格は、この基準に引用されることによって、その一部又は全部がこの基準の要求事項を構成している。これらの引用規格は、その最新版を適用する。</u></p> <p><b>JAS 1606</b> <u>有機加工食品</u>  <b>JAS 1607</b> <u>有機飼料</u></p> <p><b>3 用語及び定義</b>  <u>この基準で用いる主な用語及び定義は、JAS 1606及びJAS 1607による。</u></p> <p><b>4 生産及び保管に係る施設</b>  <u>製造、加工、包装、保管その他の工程に係る施設が、有機飼料にあつてはJAS 1607の5.3、有機加工食品にあつてはJAS 1606の5.3に従い管理を行うのに支障のない広さ、明るさ及び構造であり、適切に清掃されていなければならない。</u></p> <p><b>5 生産行程の管理又は把握の実施方法</b>  <b>5.1</b> <u>6.2に規定する生産行程管理責任者に、次の職務を行わせなければならない。</u></p> <p><b>a)</b> <u>生産行程の管理〔外注管理（生産行程の管理の一部を外部の者に委託して行わせることをいう。以下同じ。）を含む。以下同じ。〕又は把握に関する計画の立案及び推進</u></p> <p><b>b)</b> <u>生産行程の管理において外注管理を行う場合にあつては、外注先の選定基準、外注内容、外注手続等当該外注に関する管理又は把握に関する計画の立案及び推進</u></p>	<p style="text-align: center;">有機飼料（調製又は選別の工程以外の工程を経たものに限る。）及び有機加工食品についての生産行程管理者及び外国生産行程管理者の認証の技術的基準</p> <p>（新設）</p> <p>（新設）</p> <p>（新設）</p> <p><b>二 生産及び保管に係る施設</b>  <u>製造、加工、包装、保管その他の工程に係る施設が、有機飼料（調製又は選別の工程以外の工程を経たものに限る。以下同じ。）にあつては有機飼料の日本農林規格（平成17年10月27日農林水産省告示第1607号）第4条の表製造、加工、包装、保管その他の工程に係る管理の項の基準、有機加工食品にあつては有機加工食品の日本農林規格（令和4年9月1日財務省・農林水産省告示第18号）第4条の表製造、加工、包装、保管その他の工程に係る管理の項の基準に従い管理を行うのに支障のない広さ、明るさ及び構造であり、適切に清掃されていること。</u></p> <p><b>三 生産行程の管理又は把握の実施方法</b>  <b>1</b> <u>三の2に規定する生産行程管理責任者に、次の職務を行わせること。</u></p> <p><b>(1)</b> <u>生産行程の管理〔外注管理（生産行程の管理の一部を外部の者に委託して行わせることをいう。以下同じ。）を含む。以下同じ。〕又は把握に関する計画の立案及び推進</u></p> <p><b>(2)</b> <u>生産行程の管理において外注管理を行う場合にあつては、外注先の選定基準、外注内容、外注手続等当該外注に関する管理又は把握に関する計画の立案及び推進</u></p>

- c) (略)
- 5.2** 次の事項について、内部規程を具体的かつ体系的に整備してなければならない。
- a) (略)
- b) 同等国格付飼料に添付されている証明書又はその写しの確認に関する事項〔有機飼料（同等国格付飼料を原材料として使用するものに限る。）を生産する場合に限る。〕
- c) (略)
- d) 製造、加工、包装、保管その他の工程に係る管理に関する事項
- e) 製造、加工、包装、保管その他の工程に使用する機械及び器具に関する事項
- f)・g) (略)
- h) 年間の生産計画の策定及び当該計画の認証機関等への通知に関する事項
- i) 生産行程の管理又は把握の実施状況についての認証機関等による確認等の業務の適切な実施に関し必要な事項
- 5.3** 内部規程に従い生産行程の管理及び把握に関する業務を適切に行わなければならない。
- 5.4** 内部規程の適切な見直しを定期的に行い、かつ、従業員に十分周知することとしないならない。

## 6 生産行程の管理又は把握を担当する者の資格及び人数

### 6.1 生産行程管理担当者

生産行程の管理又は把握を担当する者（以下「生産行程管理担当者」という。）として、次のいずれかに該当する者が1人以上（当該生産行程管理者等が複数の生産及び保管に係る施設を管理し、又は把握している場合には、当該施設の数、分散の状況等に応じて適正な生産行程の管理又は把握を行うのに必要な人数以上）置かれてなければならない。

- a) 学校教育法（昭和22年法律第26号）による大学で飼料若しくは飲食料品の製造若しくは加工に関する授業科目の単位を取得して卒業した者又はこれらと同等以上の資格を有する者であって、飼料若しくは飲食料品の製造若しくは加工又は飼料若しくは飲食料品の製造若しくは加工に関する指導、調査若しくは試験研究に1年以上従事した経験を有するもの
- b) 学校教育法による高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者又はこれらと同等以上の資格を有する者であって、飼料若しくは飲食料品の製造若しくは加工又は飼料若しくは飲食料品の製造若しくは加工に関する指導、調査若しくは試験研究に2年以上従事した経験を有するもの
- c) 飼料若しくは飲食料品の製造若しくは加工又は飼料若しくは飲食料品の製造若しくは加工に関する指導、調査若しくは試験研究に3年以上従事した経験を有する者

### 6.2 生産行程管理責任者

次による。

- a) 生産行程管理担当者が1人置かれている場合にあつては、その者が生産行程管理責任者として、認証機関等の指定する講習会（以下「講習会」という。）において有機飼料又は有機加工食品の生産行程の管理又は把握に関する課程を修了してなければならない。

- (3) (略)
- 2** 次の事項について、内部規程を具体的かつ体系的に整備していること。
- (1) (略)
- (2) 外国（日本農林規格等に関する法律施行規則（令和4年財務省・農林水産省令第3号）第30条に定める国）の政府機関その他これに準ずるものとして主務大臣が指定するものによつて発行された証明書の確認に関する事項〔有機飼料（同等国格付飼料を原材料として使用するものに限る。）を生産する場合に限る。〕
- (3) (略)
- (4) 製造、加工、包装、保管その他の工程に係る管理に関する事項
- (5) 製造、加工、包装、保管その他の工程に使用する機械及び器具に関する事項
- (6)・(7) (略)
- (8) 年間の生産計画の策定及び当該計画の認証機関（登録認証機関又は登録外国認証機関をいう。以下同じ。）への通知に関する事項
- (9) 生産行程の管理又は把握の実施状況についての認証機関による確認等の業務の適切な実施に関し必要な事項
- 3** 内部規程に従い生産行程の管理及び把握に関する業務を適切に行うこと。
- 4** 内部規程の適切な見直しを定期的に行い、かつ、従業員に十分周知することとしていること。

## 三 生産行程の管理又は把握を担当する者の資格及び人数

### 1 生産行程管理担当者

生産行程の管理又は把握を担当する者（以下「生産行程管理担当者」という。）として、次のいずれかに該当する者が1人以上（当該生産行程管理者が複数の生産及び保管に係る施設を管理し、又は把握している場合には、当該施設の数、分散の状況等に応じて適正な生産行程の管理又は把握を行うのに必要な人数以上）置かれていること。

- (1) 学校教育法（昭和22年法律第26号）による大学で飼料若しくは飲食料品の製造若しくは加工に関する授業科目の単位を取得して卒業した者又はこれらと同等以上の資格を有する者であつて、飼料若しくは飲食料品の製造若しくは加工又は飼料若しくは飲食料品の製造若しくは加工に関する指導、調査若しくは試験研究に1年以上従事した経験を有するもの
- (2) 学校教育法による高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者又はこれらと同等以上の資格を有する者であつて、飼料若しくは飲食料品の製造若しくは加工又は飼料若しくは飲食料品の製造若しくは加工に関する指導、調査若しくは試験研究に2年以上従事した経験を有するもの
- (3) 飼料若しくは飲食料品の製造若しくは加工又は飼料若しくは飲食料品の製造若しくは加工に関する指導、調査若しくは試験研究に3年以上従事した経験を有する者

### 2 生産行程管理責任者

- (1) 生産行程管理担当者が1人置かれている場合にあつては、その者が生産行程管理責任者として、認証機関の指定する講習会（以下「講習会」という。）において有機飼料又は有機加工食品の生産行程の管理又は把握に関する課程を修了していること。

**b)** 生産行程管理担当者が複数置かれている場合にあつては、生産行程管理担当者の中から、講習会において有機飼料又は有機加工食品の生産行程の管理又は把握に関する課程を修了したものが、生産行程管理責任者として、1人選任されていなければならない。

## 7 格付の実施方法

**7.1** 次の事項について、格付に関する規程（以下“格付規程”という。）を具体的かつ体系的に整備していなければならない。

**a)～c)** (略)

**d)** 出荷後にJAS 1607又はJAS 1606に不適合であることが明らかとなった荷口への対応に関する事項

**e)** (略)

**f)** 格付の実施状況についての認証機関等による確認等の業務の適切な実施に関し必要な事項

**7.2** 格付規程に従い格付及び格付の表示に関する業務を適切に行い、その結果、格付の表示が適切に付され、又は除去若しくは抹消されることが確実に認められなければならない。

**7.3** 有機飼料にあつては名称の表示がJAS 1607の箇条6に定める方法で、有機加工食品にあつては名称及び原材料名の表示がJAS 1606の箇条6に定める方法で適切に行われることが確実に認められなければならない。

## 8 格付を担当する者の資格及び人数

### 8.1 格付担当者

格付を担当する者（以下“格付担当者”という。）として、6.1 a)～c)のいずれかに該当する者であつて、講習会において有機飼料又は有機加工食品の格付に関する課程を修了したものが1人以上（当該生産行程管理者等が複数の生産及び保管に係る施設を管理し、又は把握している場合には、当該施設の数、分散の状況等に応じて適正な格付を行うのに必要な人数以上）置かれていなければならない。

### 8.2 格付責任者

格付担当者が複数置かれている場合にあつては、格付担当者の中から、格付責任者として1人選任されていなければならない。

(2) 生産行程管理担当者が複数置かれている場合にあつては、生産行程管理担当者の中から、講習会において有機飼料又は有機加工食品の生産行程の管理又は把握に関する課程を修了したものが、生産行程管理責任者として、1人選任されていること。

## 四 格付の実施方法

1 次の事項について、格付に関する規程（以下「格付規程」という。）を具体的かつ体系的に整備していること。

(1)～(3) (略)

(4) 出荷後に有機飼料又は有機加工食品の日本農林規格に不適合であることが明らかとなった荷口への対応に関する事項

(5) (略)

(6) 格付の実施状況についての認証機関による確認等の業務の適切な実施に関し必要な事項

2 格付規程に従い格付及び格付の表示に関する業務を適切に行い、その結果、格付の表示が適切に付され、又は除去若しくは抹消されることが確実に認められること。

3 有機飼料にあつては名称の表示が有機飼料の日本農林規格第5条に定める方法で、有機加工食品にあつては名称及び原材料名の表示が有機加工食品の日本農林規格第5条に定める方法で適切に行われることが確実に認められること。

## 五 格付を担当する者の資格及び人数

### 1 格付担当者

格付を担当する者（以下「格付担当者」という。）として、三の1の(1)から(3)までのいずれかに該当する者であつて、講習会において有機飼料又は有機加工食品の格付に関する課程を修了したものが1人以上（当該生産行程管理者が複数の生産及び保管に係る施設を管理し、又は把握している場合には、当該施設の数、分散の状況等に応じて適正な格付を行うのに必要な人数以上）置かれていること。

### 2 格付責任者

格付担当者が複数置かれている場合には、格付担当者の中から格付責任者として1人選任されていること。